～つながれ　千代田の絆～

令和６年６月２０日発行

千代田中通信

【目指す生徒像】
- ○　「こうどう」する生徒
- ○　絆を大切にする生徒

校舎南のフェンス沿いに発芽したひまわりの苗が、太陽の光をいっぱいに浴びて日に日に成長しています。昨年度に咲いたひまわりの種に新しい種を加え、環境委員会の生徒が丁寧に種をまき、水をやったり、倒れないように土を盛ったりして愛情を込めて育てています。また、学校支援ボランティアの方が、その周りに生えてくる雑草を抜いてくださっています。明るく鮮やかな黄色い花が元気に咲くのを楽しみにしています。

保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

【水をもらい成長するひまわり】

１学期も後半となりましたが、「学校要覧」にお示しした指導の重点を踏まえて、これまでの学校の取組や子どもたちの様子をお知らせいたします。

自分たちの力で　～ ベルマーク活動（６月５日～７月１９日）～

生徒会執行部の発案をもとに生徒議会で話し合い、「学校をよりよくしようとする心」「みんなで協力しようとする姿勢」をより育むためにベルマーク活動を開始しました。昇降口の掲示板に種類毎に分けて入れられるように複数のボックスを備え付け、ベルマークを持ってきた生徒は、種類を確認して、ボックスの中に入れていきます。

この活動を通して、主体的に「こうどう」することの喜びや、絆を大切にみんなで取り組むことの素晴らしさを実感できたらと思います。活動終了後、集まったベルマークの点数で何を購入するか生徒会執行部を中心に決めていく予定です。

【ベルマークを入れる生徒】

絆をより強く　～ 小中連携事業『あいさつ運動・読み聞かせ・クリーンキャンペーン』 ～

「おはようございます」と気持ちのよいあいさつを交わす『あいさつ運動』を、生活委員会が中心となって、千代田小学校と坂田小学校に出向いて実施しました。まちづくり推進協議会の「千代田あいさつ運動」の一環として、のぼり旗やプレートを持って、あいさつの輪を広げていけるように登校する小学生に笑顔で呼びかけました。

図書委員会は、委員会の時間に各小学校に出向き、小学生に『読み聞かせ』を実施しました。低学年の児童が興味をもてるお勧めの本を選び、聞き手のことを考えて何度も練習をして、当日はゆっくり、そして抑揚を付けて語りかけるように読むことができました。

環境委員会が中心となって、生徒全員が地区ごとに分かれて清掃活動を行う『クリーンキャンペーン』を今年度は千代田小学校６年生とともに実施する予定でしたが、雨のため中止となりました。２学期以降にできることを考えていきたいと思います。

２学期に行われる文化祭の合唱コンクールには、各小学校６年生を招待し、千代田中学校の伝統である合唱を披露する予定です。小中連携事業を通して、千代田の絆がより強いものとなるように全教職員で支援をしていきます。

【あいさつ運動に取り組む様子】

【読み聞かせをする様子】

まちづくり推進協議会の事業である「千代田ひまわり畑」の種まきや、「千代田夏まつり」の準備や片付けに中学生ボランティアとして多くの生徒が参加をします。千代田地区の活性化につながればと思います。